

令和2年度 府中町キッズ環境調査プロジェクト 活動報告

府中北小学校 第4学年

目的

- 府中町の自然環境について自分たちで調べることで、自分たちのくらしに目を向け、環境を守って生活していこうという気持ちを持てるようにする。

活動内容

「まち」の環境を調べよう

① 府中町の自然の豊かさを知る

- ・川遊びやみくまり峡の観察を通して、身の回りに豊かな自然があることを知った。
- ・川遊びをしたことから、身近にあるみくまり峡の自然を大切にしていきたいという思いを持った。



できることにチャレンジしよう

② 林業体験をする

- ・環境保全活動や、自然を大切にしている人々の思いを知る。
- ・林業を担っている人の思いを知り、体験をすることで、自然をより大切にしようとする気持ちを持つことができた。



③ 調べて分かったことを新聞にまとめる。

- ・二酸化炭素の排出量やプラスチックゴミ、マイクロプラスチック問題などについて本やインターネットで調べた。

- ・調べたり、新聞にまとめたりすることで、ゴミを出さないために自分に何ができるか考えることができた。

- ・学習を通して、友達の考えを取り入れながらまとめたり、これからの生活を見直したりしようとする力が付いた。



みんなに伝えよう

④ 下学年に環境問題について発表する。

- ・下学年に分かりやすく伝えるために、図や表、グラフを用いるなどの工夫を行った。

- ・興味関心を持ってもらうために、クイズ形式や、劇化などの工夫をすることができた。



⑤ 成果と課題

- 子どもたちの意欲を大事にし、自分達で「調べたい」「やってみたい」と思ったことを実際にするようにしたため、意欲的に活動に取り組むことができた。
- 関心別のグループを作り学習を進めたので、グループで調べる発表内容を話し合ったりまとめたりすることが最後まで意欲的にできた。友達と協力しながら自分達で学習を進めていく力が育った。
- 「調べたい」と思ったことを検索し、パソコンを使って情報を収集することができるようになった。
- 環境を守る生活の仕方を考える上で、環境に良い生活の仕方を考えるだけでなく、無理なく続けられる取組であることの大切さにも気付き、多くの児童が生活の仕方を考え、生かすことができた。
- 学習の進め方や情報の整理の仕方、発表内容の決定や効果的な伝え方の工夫等において、支援が必要な児童への手立てを工夫していく必要があると感じた。

⑥ 今後に向けて

- ・今年度は、様々な制限があったため、伝える対象が校内の児童だけであったが、多くの人が環境問題に取り組んでほしいという児童の考えを保護者や地域の人にも伝える機会を設けていきたい。